

令和5年度第2回平塚市文化財保護委員会 会議録

日 時

令和5年11月30日(水)

午前10時から12時まで

場 所

平塚市中央公民館 大会議室

出席者 10人〔傍聴人 0人〕

委員：近藤委員長、吉田(英)副委員長、吉田(鋼)委員、薄井委員、兼平委員、丸島委員

事務局：田中課長、中嶋課長代理、五十嵐主査、中村主事

平塚市文化財保護委員会委員委嘱式

文化財保護委員会運営に関する協議(文化財保護委員長・副委員長の選出)

委員長 近藤英夫 副委員長 吉田英里子

(事務局) 挨拶

(事務局) 資料確認

議事

1 報告事項

平塚市内文化財の調査について(資料1) 【公開】

(委員長)

本日は、報告事項1件、協議事項1件の議題がある。協議事項は非公開になる。それでは、はじめに報告事項である平塚市内文化財の調査について事務局より説明願いたい。

【資料1-1に基づき、事務局より説明】

(委員長)

平塚市内文化財調査 正福寺木造薬師如来立像 修復状況確認について説明があった。この件に関して確認をしたいこと、質問、提案、提言はあるか。

(副委員長)

正福寺の仏像に関して、どのような作風か。

(委員)

12世紀の定朝様。比較的本場の京風なので、地方仏師の作品ではないと考えられる。

(委員)

仏像が保管されているお堂の状態があまりよくないとのことだが、仏像の修理が終わった際には元のお堂に戻すことになるのか。

(委員)

妙楽寺との兼務の住職なので、妙楽寺に移すことになるのではないか。

(事務局)

住職の意向はまだ確認できていないため、今後確認する。

(委員)

木造薬師如来立像が保管されていたお堂の中に、十二神将も保管されている。とても良い仏像のため今後の修理を検討していきたい。12体あるため予算についても補助金等を

検討していく。

修理中の木造薬師如来立像については、博物館等での保存が一番良いと考えている。

(事務局)

正福寺は住職がおらず、妙楽寺住職が兼務している。所有者の意向を確認しながら今後の保管については検討していく。

(副委員長)

修繕費はいくらかかったのか。

(事務局)

500万円程度。

(委員)

修理から戻ってきた際、公開の予定はあるのか。

(事務局)

来年度、市博物館で公開できるように進めている。写真撮影を行い、写真は貸出等もできる状態にしていきたい。公開の際はこの仏像だけではなく、他の指定文化財も併せて公開していきたい。

(委員長)

仏像はいつ修理が終わり戻ってくるのか。

(事務局)

今年度の3月には完成して戻ってくる。一度当事者にお戻ししてから、再度運び出して展示・公開をしたい。

(委員長)

次回の委員会で正福寺の仏像の公開について、今後の見通しを報告してほしい。

【資料1-2に基づき、事務局より説明】

(委員長)

平塚市内文化財調査 延命寺 木造千手観音菩薩立像及び木造地藏菩薩半跏像の調査について事務局から説明があった。この件に関して確認をしたいこと、質問、提案、提言はあるか。

(事務局)

今回住職が不在であったため、1月～2月に再調査を行う。延命寺の住職さんも古いものなのではないかと気になっているのでぜひ立ち会いたいと言っている。

(委員長)

次回の委員会の際に報告ができるように進めてもらいたい。

【資料1-3に基づき、事務局より説明】

(副委員長)

神田宗庭の絵画の所在確認はその後どうか。絵画等資料数が多いということだがどれくらい収蔵されているのか。

(事務局)

数が多く確認できていない。指定文化財以外の寄託や寄贈のものも収蔵されているので、数で言うとうわらない。

(委員)

神田宗庭の絵画だが、博物館で見たというのを聞いたことがある。

(事務局)

以前博物館での調査時に撮影した写真はあったので、それを手掛かりに継続して調査を進めていく。

(委員)

博物館にかなりの数の資料が収蔵されているとのことなので、また別の人の目で確認することが必要。違った価値が見つかる可能性もある。

(委員)

収蔵されているのは、博物館の収蔵資料なのか、寄託資料なのか。

(事務局)

寄託もあれば、収蔵もある。

(委員長)

博物館と連携を取って、漏れがないようにするべき。

【資料1－4に基づき、事務局より説明】

(委員長)

横内地区包蔵地外の踏査について、調査を行うに至った経緯について説明願いたい。

(事務局)

この地域に元々塚があったことは文献等で把握はしていた。2016年に刊行した試掘調査報告書の中で包蔵地にするべきではないかと懸案になっていたが、業務の都合上すぐに取り掛かれなかった。指定文化財調査を進める中で、懸案事項も一つずつ進めていこうという話になったため、取り掛かっているという状況。

(委員長)

教育委員会が主導して、市内の遺跡を再確認して遺跡らしいものが見つかったという認識でよいのか。そして今後正規の遺跡として登録するかどうかという流れでよいのか。

(事務局)

そのような認識でよい。

未周知である場合、事前に試掘調査を実施する根拠がない。踏査の結果、築年数の古い建物も多く、今後の建て替えや開発等に対応していけるようにあらかじめ周知化していく必要がある。

(委員)

塚のあった場所からどれくらいの範囲を包蔵地化する考えなのか。

(事務局)

具体的には塚がある敷地と、試掘調査をして遺跡があるとされている西側の場所を合わせて包蔵地になると考える。

(委員)

現在塚のあった場所はどのように使われているのか。

(事務局)

現在は何かに使われている様子はなく、個人宅の庭先にある様子。

(委員)

所有者は塚の存在を把握していて、何も手を付けていない状況なのか。

(事務局)

地元の方で、教育力ネットの関係で取材をした方に話を聞くことができたが、所有者さんも認識はあるとは考えられる。

(委員)

塚があった土地と五輪塔がある土地の所有者は同じなのか。

(事務局)

家族や親族である可能性は高い。

(委員長)

課題が多くあると思うが、積極的に事務局のほうで関わってしてもらいたい。次回以降に進捗状況を詳しく伺いたい。報告事項についてはここまでにして、協議事項に移る。非公開になるが、傍聴者がいないのでこのまま進めることにする。

2 協議事項

今後の文化財指定等について(資料2) 【非公開】

3 その他 【公開】

(委員長)

その他で意見があれば発言を願う。事務局、あるいは先生方から用意があればお願いしたい。

(事務局)

事務局から一点報告事項がある。

(事務局)

令和5年11月19日に「第47回ひらつか民俗芸能まつり」を開催した。出演団体は神奈川県立高浜高校文楽部、湘南座、相模人形芝居前鳥座、馬入文化財保存会、前鳥神社囃子太鼓保存会。高浜高校文楽部に2年ぶりに部員が入部したため2年ぶりの出演。馬入文化財保存会は平成29年度以来の6年ぶりの出演。来場者数は177名。

(委員長)

他に意見はあるか。

(委員)

文化財の公開や新たな文化財の調査の結果報告を市民の方にどのように伝えていくのか。文化財調査報告書が定期的に刊行されていたが、現在は行っていない。紙で印刷しなくても、デジタルで報告書をまとめて公開してほしい。今までの文化財調査報告書もデジタルで公開してほしい。市で行うのが難しいようであれば国立国会図書館にデジタル資料を送付すると、公開してくれる制度がある。保護委員会で議論して、様々な調査を行っているので、公開すれば別の研究者から新しい知見が得られる場合もある。検討してほしい。

(委員)

文化財行政をしっかりと行っているというバロメーターになる。調査の中身まで公開し

ていると力を入れているという評価につながる。

(委員長)

それでは、本日3つの議題が終了したので事務局へお返すする。

(事務局)

本日は貴重な御意見をありがとうございました。課題は持ち帰り検討する。また、次回の会議は2月中旬に開催する。早めに皆さんの予定を伺うことにする。

以 上